

Ⅱ。ヘテロ書講解授業

「バラムの道と真理の道」

有賀喜一師

イエスは彼に言われた。
「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。
わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに
来ることはありません。」（ヨハネの福音書14章6節）

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院
2018年10月・11月号 NO.173

学院
講義



Ⅱペテロ書講解授業 「目覚めたキリスト者」
「バラムの道と
真理の道」

有賀喜一師

Ⅱペテロの主題は「目覚めたキリスト者」というテーマが全体を通して語られています。それは1章に於いては「キリストの義に生きる者」であり、更に、「キリストの力に生きる者」です。そして2章から3章に入りますと具体的な注意すべき事柄についてペテロは述べています。それは世界の滅びの前に、「目覚めたキリスト者がどのような歩むべきか」「キリスト者の使命」というテーマです。今年、日本各地で災害が起こり、益々、イエス様の現われが近づいておられるということを思われます。是非、今こそこの手紙を通して、私たちが何をなすべきかを学んでいきたいと思えます。

「バラムの道」

「彼らは正しい道を捨ててさまよっています。不義の報酬を愛したベオルの子バラムの道に従ったのです。」(Ⅱペテロ2章15節)

異端とは「えり好み」という意味です。それはキリスト教の全体を見ることなく、ある一部分だけを強調し主張するものです。一見正しいように思えることを語ります。聞く者もそれは正しいと感じます。しかしその言葉は聖書全体を踏まえた言葉ではありません。自分が主張したい部分だけを強調しているのです。それはとても危険な教えです。Ⅱペテロ

「真理の道」

「また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。…というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。」(Ⅱペテロ2章5節・8節)

創世記に出てくるノアは、不敬虔な時代に於いて、「義を宣べ伝えた」人でした。神は義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護したとあります。ノアは、神様から箱舟を造るよう命じられました。それも山の上に作るよとの命令でした。しかし普通は船は港に作るのが常識です。それはどうしてでしょうか？それは人々が神の救いを見る為です。神はノアに命じて人々がやがて来る大洪水の前に、この箱舟に乗るよと語るよとさせました。それは「人々が墮落し暴虐で満ち、すべての肉なるものが、地上でその道を乱していたから」(創世記6章17節)です。神はそれをご覧になって「悔いた」とあります。(創世記6章6節)神が「悔いた」と書かれている箇所はここだけです。これは人間的な言い方をしていますが、悲しまれたということです。ノアは120年間、宣べ伝え続けました。しかし、誰も耳を傾けようとはしません。誰一人聞こうとはしませんでした。来たのはひとつがいの動物たちだけでした。やがてその時が来ました。箱舟のドアは閉められ、神の言葉の通り、地に大雨が降ってきました。それが洪水となりました。その時に人々は初めて気が付きました。あのノアが言っていたことは本当であったと。そこで人々は急いで山を

駆け上って来て、そして言うのです。「ノアよ助けてくれ!」「ドアを開けてくれ!」しかしドアを開めたのはノアではありませんでした。それは神でした。ノアにはもうどうすることも出来ませんでした。結局、ひとつがいの動物たちを含め、ノアの家族八人だけが助かり、人々は全滅しました。この出来事が私たちに教えることは、どんなに滅びが近づいてきても、ノアのように真の神を信じ、その言葉を受け入れ、そして従うものには、必ず救いは来るとことです。ノアは滅びの時代に、彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていました。しかし120年間も人々に宣べ伝え続けました。義人ノアは、神の言葉を信じ、その「真理の道」を真っ直ぐに歩んだ人でした。

「目覚めたものへの激励」

「しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。」(Ⅱペテロ3章8節)

ノアの洪水のように、この天と地との万物が改まる日、それは「主の訪れの日」ですが、私たちは見落としてはならないことがいくつもあります。それは時間の感覚です。主の時間と人の時間の違いです。人の時間では長く思える時も、神の御前では短く、一時にしか過ぎません。それは千年は一日のようであるという言葉の通りです。神の前にはこの二千年間も、たった2日間にしか過ぎないのです。しかし、もっと見落としてはならないことは、神の忍耐の深さです。イエス様は、ヨハネの福音書の14章の個所で、天の父の御元に帰

る目的は、あなた方の為に場所を備えに行く
と仰いました。そして、「備えたなら、また来
てあなた方を迎える」(ヨハネ14章1節～3
節)と仰いました。私はもうイエス様の場所
の備えは終わったと思います。天国は完成し
たと思います。しかし、何故?、主は来られ
ないのでしょうか?何故?、すぐに来られな
いのでしょうか?それはこの個所に理由が書
かれています。「神は忍耐深く、一人でも滅び
ることは望まず、すべての人が悔い改めに進
むことを望んでおられます。」(IIペテロ3章
9節)もし今、主が来てしまったなら、救わ
れるはずの人が救われることなく終わります。
ですから、1日でも、2日でも伸ばすことによ
って、「あの人」が、又、「この人が」滅び
ないで信じて来るかもしれないと、神は思っ
ておられるからです。神は、忍耐の限りをもっ
て、一人でも多くの人が救われるように待ち
続けておられるのです。そして、更に見落と
してはならないのは、その日は、突然に訪れ
るということです。「しかし、主の日は盗人の
ようにやってきます。」(IIペテロ3章10節)
とあります。先日北海道で起こった地震は、
誰にも予知できませんでした。正にそのよう
なことです。誰にもわからないのです。それ
は盗人のように思いがけない時にやって来ま
す。そしてその終わりの状況は驚くべきもの
です。「天は大きな響きをたてて消えうせ、天
の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろい
ろなわざは焼き尽くされます。」(IIペテロ3
章10節)

ですからこそ、主の日が近づいているから
こそ、私たちは「バラムの道」のようではなく、
何事においてもあいまいで、優柔不断な歩み

ではなく、義人ノアのように、敬虔な聖い生
き方を通して「真理の道」を歩むものであり
たいと思います。何故?それが出来るのでしょ
うか?それは私たちに神の約束があるからで
す。私たちに新しい天と新しい地が約束され
ているからです。それを待ち望みましょう!

「このように、これらのものはみな、くずれ
落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれ
ほど聖い生き方をする敬虔な人でなければなら
ないことでしょうか。そのようにして、神の
日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早
めなければなりません。その日が来れば、そ
のために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼
け溶けてしまいます。しかし、私たちは、神
の約束に従って、正義の住む新しい天と新し
い地を待ち望んでいます。そういうわけで、
愛する人たち。このようなことを待ち望んで
いるあなたがたですから、しみも傷もない者
として、平安をもって御前に出られるように、
励みなさい。」(IIペテロ3章11節～14節)



安らかに眠るものの幸い—詩篇 4 篇

「眠られぬ夜のために」

CFNJ 聖書学院学院長

鍛冶川利文

「平安のうちに私は身を横たえ、すぐ眠りにつきます。主よ。あなただけが、私を安らかに住まわせてくださいます。」詩篇4篇8節

2018年9月6日の午前3時頃、北海道で大きな地震が起こりました。亡くなられた方や、道内各地で大きな被害があり、避難所で不便な生活を強いられておられる方たちがたくさんいます。今年は、北海道だけでなく日本各地で災害が多発しました。台風や大雨による甚大な被害が日本各地でありました。もう日本のどこに住んでいても安全で安心して暮らせるところは見当たらないほど、災いは身近に感じられ、夜も眠れないような思いで、毎日を過ごしておられる方たちも多かったと思います。このような状況の中で私たちはどのようにしたら、安らかな心で日々を過ごし、平安のうちに一日の終えることが出来るのでしょうか。ダビデの人生を見ましょう。

詩編4篇は、「ダビデの夕べの祈り」と呼ばれています。この詩篇でダビデは、一日を終り、床につく前にその日を振り返りながら、神に、喜びの祈りを捧げています。しかしこれはダビデの人生がいつも平安だったからではありません。いやむしろダビデの生涯は苦難の連続でした。特に晩年には何度も眠れぬ夜を過ごしました。この詩篇はダビデの晩年に詠まれました。

スイス人の思想家でキリスト者のカール・ヒルティ(1833～1909)が「眠られぬ夜のために」という本を書きました。この本は1年を通しての日毎の言葉が書かれています。とても優れた書物です。この本の書き出しに、著者自身がこう言っています。「眠れない夜はつらい。しかし、いたずらに嘆いていないで、我々はそれを、日頃怠りがちな、自己反省のための静かな妨げられない時間として活用しようではないか。」これはとても前向きな言葉です。誰にも眠れぬ夜はあるものです。でもそのような時こそ、自らの心を見つめ直し、いったい自分は何を支えに生きているかをダビデのように問い直す時としたいと思います。この詩編を通し、「安らかに眠るものの幸い」を見たいと思います。

1. 苦しみのときに、「ゆとり」を与えてくださる。(1節)

「私が呼ぶとき、答えてください。私の義なる神。あなたは、私の苦しみのときにゆとりを与えてくださいました。私をあわれみ、私の祈りを聞いてください。」(1節)

ダビデは晩年、息子アブシャロムの謀反の故に城を追われる身となりました。苦しい逃亡生活の時期でした。しかし、そんな中でもダビデは、「私は安心して眠りにつくことが出来る」と告白します。それも、「**すぐ眠りにつきます。**」(8節)と言いました。その理由の1つ目は、神が「ゆとり」を与えてくださるからです。安眠にはゆとりが必要です。寝るときに心にゆとりがなければ眠りにつくことも熟睡することもできません。私自身はいつも眠れない時の自分を見ると、自分に全くゆとりがないのがわかります。様々な心配事や、多忙で、時間にゆとりがない状態が長く続くと、もうそれだけでイライラしていたり、又、同じような思いが頭の中でぐるぐる回ります。ですからとても熟睡などできません。でもダビデは、「神様が」ゆとりをくださると言いました。そして、その神は「私の義の神」と告白しました。神様を見上げましょう！神は義なる神で正しいお方です！

「蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも蒔く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいます。」(2コリント9章10節)

神様が正しい解決を持っておられるのです。備えて下さっているのです。心のゆとりがなくなる理由は、あまりにも自分中心に物事を見るからです。

2. 聖徒を「特別に」扱われる(3節)

「知れ。主は、ご自分の聖徒を特別に扱われるのだ。私が呼ぶとき、主は聞いてくださる。恐れおののけ。そして罪を犯すな。床の上で自分の心に語り、静まれ。」セラ(3節・4節)

ダビデは、寝床につく前に「自分を特別なものだ。」と言いました。神が私を特別扱いしてくださっている言っています。少し前向き過ぎるような言葉です。「特別扱い」とは「えこひいき」ということです。何故？ダビデはそこまで言えたのでしょうか？私は寝る前には、とてもそう言えません。「あ～もう疲れた。」「もうだめだ。」と言って否定的な思いで寝るときもあります。ダビデ自身が置かれている状況は、決してそのように言える状態ではありませんでした。息子に裏切られ、敵に囲まれ、家臣からの不信感もダビデを悩ませました。それに何よりも、これらの原因は、

ダビデ自身の過去の過ちの結果でした。自分の家来を殺し、その妻を奪い、神を欺きました。その結果、子供たちに悲劇が及びます。子供同士の近親相姦、殺人、親への反逆など、呪いの連鎖と思われる悲劇が続きます。古代のギリシャ悲劇の「オイディプス王」という物語がありますが、正にこの物語と同じような事がダビデの人生にも起こりました。しかし、ダビデは過去を見ないで、神様を見上げました。過去の犯人捜しはしませんでした。神様に依り頼んでいました。ダビデの素晴らしい所は、今の自分の状況を、過去のせいにしたらず、もし過ちを犯したなら、その罰を潔く受けとめて前に進んでいった所です。人生を導くものは因果応報や運命、宿命論という過去のものではなく、神様によるものだと堅く確信していました。そしてその神は良い方です！私を愛して、私を特別に扱ってください。これがダビデの告白です。私たちもダビデに倣い、同じように告白しましょう！

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だからわたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。」イザヤ書43章4節

3. 心に「喜び」を下さる神(17節)

「あなたは私の心に喜びを下さいました。それは穀物と新しいぶどう酒が豊かにあるときにもまさっています。」(17節)

聖書の神様は、運命論の神ではなく「**神のなさる事はすべて時にかなって美しい。**」(伝道者3章11節)と言われる神様です。そして、その動機は、「**災いではなく希望と平安をもたらす。**」ものです。(エレミヤ書29章11節)

過去に縛られるのではなく、未来を恐れるのでもなく、今、生かされ、愛されていることを喜びたいと思います。神が定められた時はいつもグッドタイミングであり、そして、終わりはいつもハッピーエンドです。1日の終わりに、平安に包まれ、満ち足りた思いで1日を終えることが出来る、これにまさる喜びはありません。安眠は、神様からのプレゼントです。主に感謝を捧げましょう！



■2018年9月3日（月）午前9時より、学院顧問でもある有賀喜一師をお迎えし、2学期からの入学式が執り行われました。これから始まる献身と学びの生活の為に祈りをよるしく願いいたします。

2018 年度2学期

入学式



アルプスコース
蒲谷 結基

■神様の大きなあわれみによって劇的に学院に導かれてから2年。恵みによって更なる学びのために3年目、アルプスコースに入学することが出来ました。最後の1年を通して、全人格的なリーダーシップを学びたいです。牧師として立つために必要な知識はもちろん、何よりもそれを支える人格、品性、資質を大きく、深いものにするため、先生、学生の仲間たちとの交わりから学び吸収し発展していきたいです。



1・2年コース
結城 勝吾

■ハレルヤ！主の御名を誉め称えます。出エジプト記3章のモーセのような私にとって、この学院で学ぶことは大きなチャレンジでした。全てを捧げるといふこのチャレンジは、決して一人で乗り越えることはできません。乗り越えられたのは、主がいつも共にいてくれたこと、家族や周りの方々がとりなし祈りそして支えてくれたこと、それらが私を励ましてくれました。そのことに心から感謝しています。そのことを忘れず、これからの学びに励んでいきたいと思えます。



アルプスコース
竹内 聡

■約5年前に、一般（2年）コースを卒業して、これまで地元の教会で神様に仕えてきました。そして今回、さらなる成熟を求めて学院にカムバックサーモンしました！これからの学びを通して、神様に期待していきたいです。



1・2年コース
藤原 千歌

■生かされている恵みは、主からの使命を全うするためだと確信しています。主の不思議な導きで学びと訓練を受けるため学院に入学しました。賛美と主の御臨在満ちあふれる学院で、一日一日を主と共に歩める恵みに感謝しつつ邁進していきたいです。



1・2年コース
金子 言葉

■全てを主に感謝します。献身の思いが与えられ、私にはこの学院しかないと感じ体験入学に来た時、主は「安心して前進なさい」と語って下さいました。主は、予定通り入学出来なかった弱い私に、「ここに来なさい。あなたを待っている。」と招き入れて下さいました。ただ一方的な主の愛と憐れみにより、今ここにいます。感謝します。ただひたすらに学び、みことばを沢山食べ、神の家族を愛する日々を過ごしていきたいです。主は良いお方。全てを主に委ねます。

2018 年度1学期

卒業式



■「ハレルヤ! 主の御名を賛美します。卒業してから半年を得て学院に戻ってきました。アルプスでの学びが出来たことを感謝します。私がアルプスを志望した理由は、献身について深く考えていたからです。学院での生活を通して キリストの弟子としてリーダーシップを学び、兄弟姉妹同士の交わりを大切に歩めたことを感謝いたします。」

アルプスコース卒業
小川 拓実



■ 2018年6月29日(金)午前9時より、「カナンプレイズチャーチ札幌」の牧師であられる「長沢克己師」をメッセージャーとしてお迎えし、この年度の1学期の「卒業式」が執り行われました。この日、アルプス生(牧師コース)1名と、1・2年コースの3名の、合計4名の卒業、修了生が学び舎を後にしました。式後、祝会の中で、在校生の学生達が製作した「学院生活の思い出ビデオ」を見ながら、これまでの様々な恵みや苦労したこと、又、出来事などを振り返り、あらためて神様の御手のすばらしさを覚える時となりました。これからのそれぞれの召しに向かって歩むひとりひとりの為にお祈りをよろしく願いいたします。

■はじめは1年で終わる予定だった学院生活も、気がつけば2年以上が過ぎていました。この期間、支え続けてくださった家族、教会の方々、先生方、友人たちに心から感謝致します。来るときは何も持たなかった私が、出て行く今は、多くの友人たち、生きる意味、日本への召し、神と歩む喜びを持って出て行くことができます。人生の土台を据えさせてもらった2年と1学期間でした。主は本当に良いお方です。心からの感謝を込めて、ハレルヤ!!

1・2年卒業/アルプスコース修了 吉岡 はるか



■ハレルヤ! 神様の恵みによって 2年間学ぶことが出来ました。2年間を通して、私は多くのことを学び、180度新しく変えられました。神様の存在、神様にあつての自己価値観、かけがえのない信仰の友達が与えられました。先生方、友、奉仕教会の方々、何よりも最初から最後まで導いてくれた神様に深く心から感謝しています。これからも、神様に信頼し期待して、名前の通り、愛を美しく捉え、美しく愛を流す者になりたいと思います。

2年コース卒業 小埜 愛美



■ハレルヤ。神様のなさることは、すべて時になつて美しい! CMPコースでの学び、内面の癒しと解放、賜物の新しい発見、リーダーシップの訓練、教会生活と奉仕など、期待以上の経験をした1年。神様は私の行くべき道を知らせ、いつも目を留めて助言をくださいました。いま立っている場所とその先に見える道にも平安と希望があることを感謝します。先生方、スタッフのみなさん、たくさんの愛と学びをありがとうございました!

1年コース修了/CMPコース卒業 石坂 礼



神の国が解き放たれる！

Heart

of ダビデの心 セミナー



David



ホゼ・ディアス師

10月19日(金) / 「合同賛美祈り会」(2枠目)

- 場所/カナンプレイズチャーチ
- 時間/午後7時30分～

20日(土) / 「預言的な歌&預言的なミュージシャンセミナー」

- 参加費無料 (席上献金あります)

1	10:00~12:00	「賛美礼拝と教え」
2	13:00~15:00	「賛美礼拝と教え」
3	15:15~17:00	「賛美礼拝と教え」

●講師/ホゼ・ディアス師

ホゼは、神が世界各国に遣わしている新しいリーダーです。ホゼと彼の妻ディナは、今まで HOD スクールを率いていましたが、現在は HOD グローバルのリーダーを務めています。HOD グローバルは、神の臨在を尊重し、人間関係を土台に構成される国際的なネットワークです。ホゼは力強い教えの賜物を持ち、毎年15カ国を旅し、カンファレンス、スクール、集会を開催しています。特に、礼拝、賛美、祭司職について教えています。



●講師・賛美リード/マイカ・ローレンス師

日本で生まれ、仙台で牧師をし、預言的賛美リーダー。打ち破りと喜びをもたらす器として、聖書の詩篇の言葉をそのまま使い、2012年には「ファイヤ・オン・ザ・アルター」という祈りと賛美のイベントを47全都道府県で行う。彼のCD「打ち破り」は、英語、日本語、北京語、ポルトガル語、マレー語の5つに訳されている。

■開催場所&お問い合わせ/ カナンプレイズチャーチ (合同賛美集会)・CFNJ 聖書学院 (セミナー)

札幌市東区北43条東16丁目2-1 TEL/011-781-4771

石狩市花川北6条5丁目153 TEL/0133-74-1341 mailto:office@cfnj.com

<主催>ハート・オブ・ディビッド <協賛>CFNJ 聖書学院・合同賛美祈り会

「北海道胆振東部地震」の影響とご報告、 又、お祈りのリクエストです！

今年の9月6日の午前3時7分頃に、北海道胆振地方中東部を震源として大きな地震が起り、北海道各地で大変な被害がありました。被害にあわれた方々やご家族の皆様へのお慰めと、又、いまだに避難されておられる方々の、一日も早い復興を心よりお祈りしております。地震直後から学院の状況を心配して下さり、日本各地よりたくさんのお電話やお問い合わせを頂きました。皆様のお心遣いを心から感謝いたします。幸いにも学院の施設や建物には、ほとんど被害がありませんでした。地震直後からの停電や断水の影響で、次の日は休校となりましたが、その翌日からは通常通りの授業を行うことが出来ました。この週は「有賀喜一先生」が講義に来ておられ、このような時だからこそ何が大切かを講義を通して力強く語ってくださいました。心から感謝申し上げます。

しかしながら道内各地の教会などの被害については、未だ把握できない状況が続いています。身近なところでは、学院の関連の卒業生の家族が、震源地の近くのむかわ町穂別で伝道しておられ、教会と住居が一緒になっている教会堂が大規模半壊してしまいました。以下は、被災に合われた穂別キリスト教会の「金森優子（うじゃ）」牧師夫人からの祈りのリクエストです。ぜひ、おぼえてお祈りをよろしく願いいたします。



《金森優子（うじゃ）さんからの祈りのリクエストは》

1. 教会兼住まいが地震で大規模半壊し、取り壊しが決まりました。罹災証明が出て、みなし仮設で町営に入れそうですが、いつ入れるのか未定です。早く家族で落ち着いて暮らせるようにお祈りください。
2. 公文教室の場所が見つかり、50人の生徒のために授業を再開できるようにお祈りください。



CD販売・刊行物

●お申し込みは／学院事務局迄

●お申し込みは／学院事務局まで

※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>



「神の指が
ふれた時」

定価／1枚 (CD)
(送料別) **700 円**



「神のみことば
のいやしの力」

定価／1枚 (CD)
1,000 円
(送料別)

(ゴードン・リンゼイシリーズ)

「聖霊のバプテスマを受けるには」

「いやしの信仰」

「山をも動かす祈り」

「主の恵み尽きることなく」

(鍛冶川 紀子著)

CFNJ小冊子
無料プレゼント!

アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネーションズとの提携姉妹校

新入生募集中!

随時願書受付中!

2019年1月(3学期)・4月からの入学。

cfnj.com
ホームページをご覧ください!



■SNSでCFNJの最新情報を!
・Facebook : @CFNJBS
・Instagram : CFNJ 聖書学院

**無料体験入学
実施中!**

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 1学期だけの短期で学ぶことも可能です。



**CFNJ
ゲストスピーカー
特別講義**



●ゲスト講義は無料です。
(自由献金制、テキスト代
有料) 詳しくは事務局迄。



ブルース・マクドナルド師

●10月15日~19日
(1・2時間目)



ダニエル・マカーティ師

●10月29日~11月2日
(2・3時間目)



米村英二師

●2019年1月21日~25日
(1・2時間目)



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

